

諏訪の杜っ子

令和5年4月22日(土)
福津市立福間小学校
文責 校長

あいさつ、なかよし、がんばりを大事にする子の育成

ふくまっ子が 生きていく未来は [その1]

12日に総務省から人口推計が公表されました。推計によると減少幅は過去最高の75万人減(外国人増加分を除く)。全都道府県で死亡数が出生数を上回っていました。報道では自治体の



税収が減ることによる公共料金の値上げや産業界の働き手不足が懸念されていました。

人と会話ができる対話型ソフト「ChatGPT」。質問をもとにAIが人にかわり、論文やレポートを作成することが話題になっています。改正道路交通法により4月からは車の自動運転レベル4(特定条件下での完全自動運転)が解禁されました。

ウクライナでの紛争は私達の生活にも影響していますし、気候変動は地球規模で起こっています。現在、すでに大きな変化のなかで私たちは暮らしています。子供達が大人になるころの社会は、さらにAIが進化し、グローバル化は進み、働き方、暮らし方といった点で今より大きく変貌していることが想像できます。

そのような社会で生きていく子供達にとって、どのような力が必要なのでしょう。小学校の教育内容は「学習指導要領」で定められています。現行の指導要領は2030年の社会を想定して作られています。指導要領では、変化の激しい未来で、子供達が自ら課題をつかみ、学んだ知識や技能を用いて友達と協力しながら解決策を生み出す、そのような態度や力の育成を目指しています。

言い換えると、何のために学んでいるのか、目的を明確にもって活動できる子供を育てることです。(つづく)